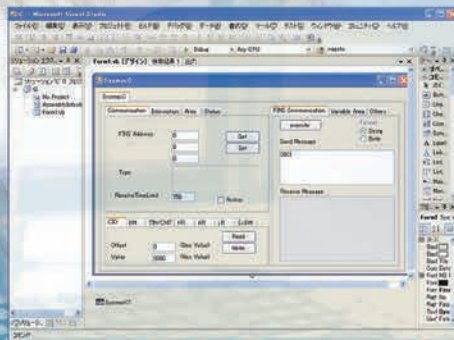
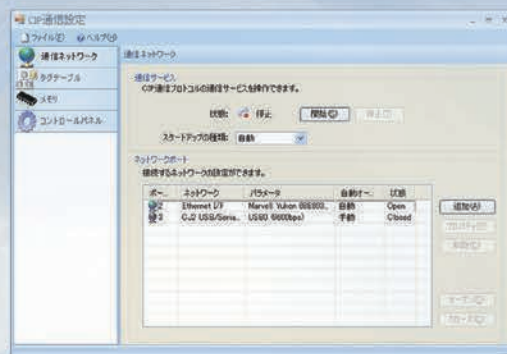


FA通信ソフトウェア

CX-Compolet / SYSMAC Gateway

Flexible & High Speed PLC-Accessing Softwares



- » High Speed
- » Direct Data link Access
- » Flexible

オムロンのPLCをパソコンから「柔軟」・ フレキシブルなアプリ作成ができる

パソコンとPLCの間での情報の量とスピードの増大、
必要となる、度重なる仕様変更(PLC内のアドレス割付の変更など)、その一方で、
アプリケーションやネットワークに依存しないソフトウェアの標準化の必要性、コストダウン…

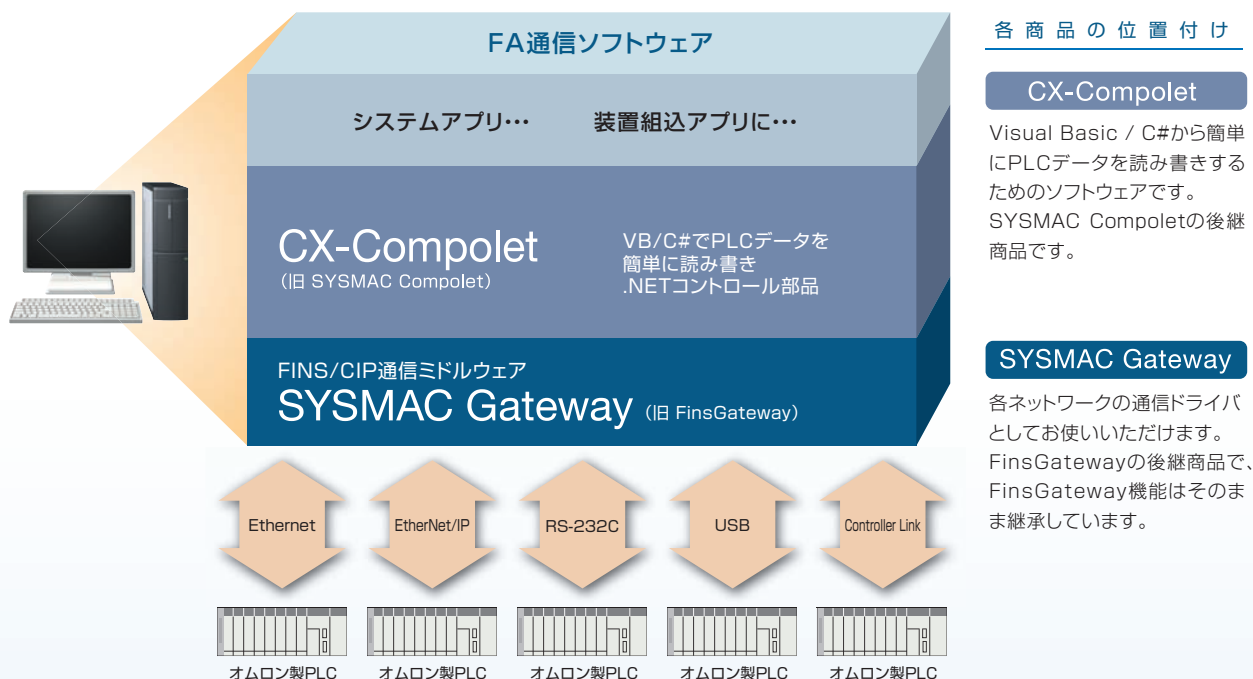
—— オムロンのFA通信ソフトウェアは、こうした課題を解決するための機能を用意しています。

Ethernet上でデータリンクが可能。(ノートパソコンのLANポートでもデータリンク可能)

FA通信ソフトウェア群から名称(タグ名)のみでPLCへアクセスも可能。

これにより、パソコンからPLCへアクセスする方法が、より柔軟、高速になり、
データリンクのための専用ボードが不要になるため、コストダウンにつながります。

Windows 11 (64bit版 *) / Visual Studio 2022対応



* WOW64(Windows-On-Windows 64)で動作します。アプリケーションを64ビットプロセスで動作させる場合は、商品に同梱しているサンプルプログラムを参考にしてください。

Sysmac は、オムロン株式会社製FA機器製品の日本及びその他の国における商標または登録商標です。

Microsoft, Visual Basic, Visual Studio, ActiveX および Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

スクリーンショットはマイクロソフトの許可を得て使用しています。

iPhone, iPadは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

その他、記載されている会社名と製品名などにつきましては、各社の登録商標または商標です。

「高速」・「直接データリンクアクセス」 FA 通信ソフトウェア

EtherNet/IP通信に対応

柔軟

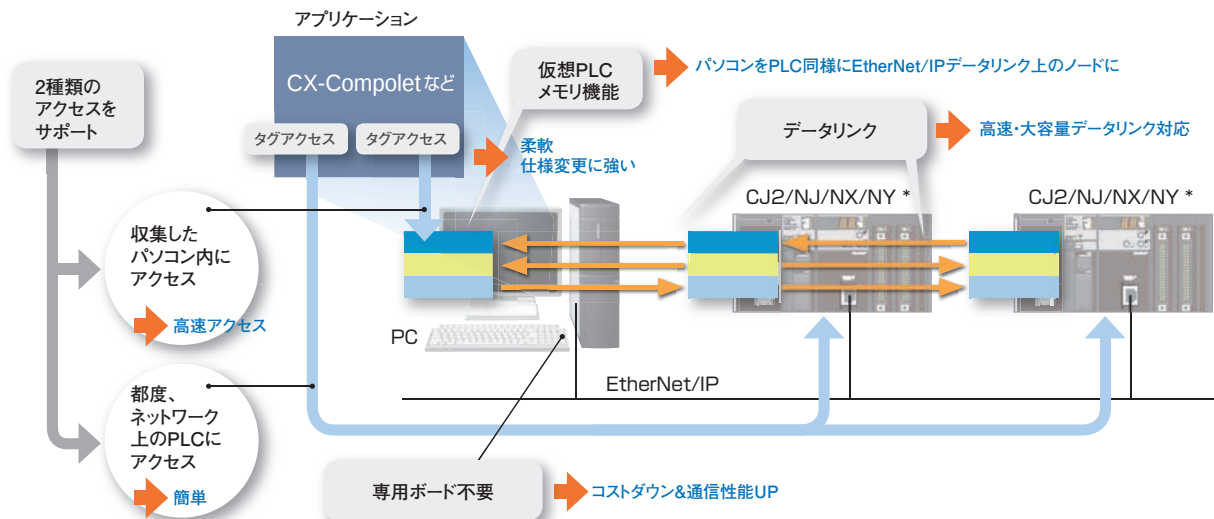
- タグアクセス
- 2種類のアクセス可

高速

- データリンクしているパソコン内にアクセス
- ソフト処理で通信

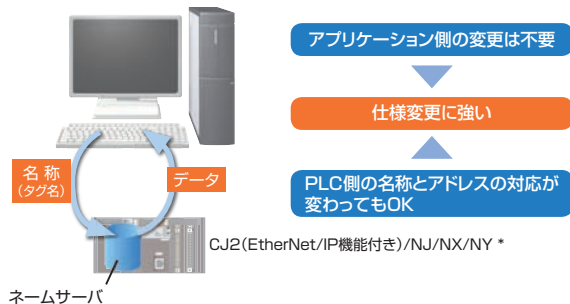
直接データリンクアクセス

- 専用ボード (Controller Link サポートボード) 不要



タグアクセス

アプリケーションは、アドレスでなく、名称(タグ名)でアクセス。



FROM

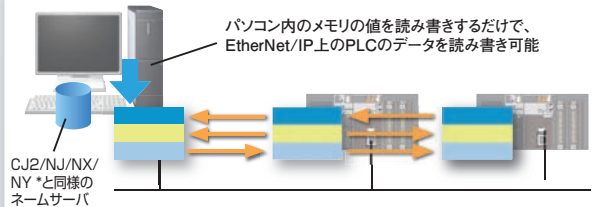
PLCのデータをアドレスで指定するため、PLC側のアドレスを変えるとアプリケーション側も変更が必要

TO

PLCのデータを名称(タグ名)で指定するため、PLC側のアドレスを変えても、アプリケーション側の変更は不要。そのため、アプリケーション側の標準化が可能。

データリンク

EtherNet/IP上でパソコン-PLC間をデータリンク



FROM

Controller Linkデータリンクを実現するために、専用のController Linkサポートボード(PCIボード)が必要

ControllerLinkでは、データリンク容量、速度制限が大きかった

TO

-パソコンのLANポートを使用するため、専用ボード不要。ノートパソコンでもデータリンク可能
-ソフト処理をしているため、パソコン性能UPで通信性能UP

EtherNet/IPにより、大容量、高速化、さらにパソコン内のデータリンクエリアにアクセスするため、毎回EtherNet/IPのノードにアクセスするより高速

注. タグデータリンクの設定には、CX-OneまたはSysmac Studioに同梱(こん)されているNetwork Configuratorが必要です。
タグアクセスは、EtherNet/IPを内蔵したCJ2シリーズおよびNJ/NXシリーズ CPUユニット、NYシリーズ産業用PCで可能です。
ただし、NYシリーズ産業用PCの内部通信ポートを使用したタグデータリンクはできません。

* NYシリーズは産業用PCプラットフォーム NYシリーズ IPCマシンコントローラのみです。

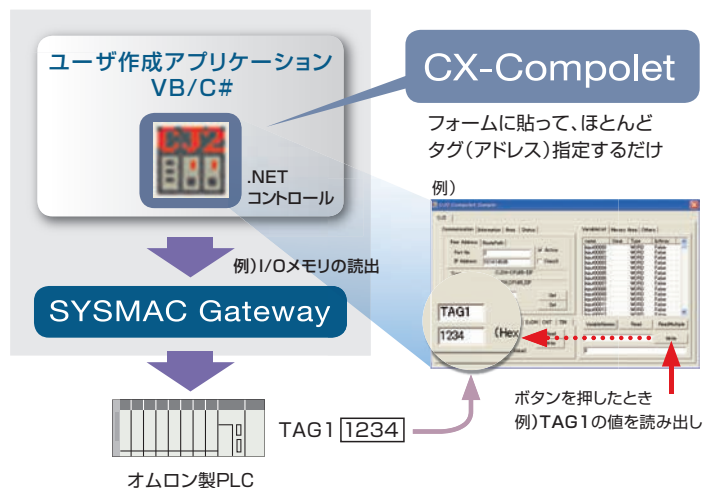
VB/C#からPLCデータを読み書きするプログラムを簡単に作成

CX-Compolet

.NETコントロール部品 ActiveXコントロール部品も同梱(こん)

CX-Compoletは、オムロン製PLCのデータを
読み書きするプログラムを、簡単に作成するための
ソフトウェア部品です。

- PLCのI/Oメモリ読み書き、動作モードの変更、
異常履歴の読み出しなどをサポート
- Microsoft Visual Studio 2012/2013/2015/2017/
2019/2022に対応
- PLCのI/Oメモリは、アドレスでなく、名称(タグ名)で指定可
能(CJ2 EtherNet/IP機能付き/NJ/NX/NY)
- 配列/構造体変数でのアクセスが可能
- ODVAに準拠したCIPデータ型に対応した変数の
読み書きが可能



こんなとき → PLCとのVB/C#通信用プログラムの作成/変更が大変なとき

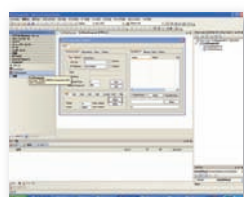
お困りごと		解決策
PLCとの通信を含む VB/C#アプリケーション を開発されているお客様	通信フレームの組み立て、受信レスポンス の解釈、監視のプログラミングが面倒	通信フレームの組み立てなどの処理をあらかじめ用意しています
	Ethernetやシリアル等各種 通信処理の変更が面倒	
	とくにPLCのアドレスの変更への対応が 面倒	アドレスでなく、名称(タグ名)でアクセスするため、PLC側のアド レスが変更されても、プログラムの変更不要*
	同一のデータ型のデータ群の場合、それ を1つのグループとみてその要素として アクセスすることができます、いちいちア ドレス指定が必要で面倒	配列変数をサポートしたため、同一名称(タグ名)で要素番号を 変えて指定するだけで、データ指定が容易*

*CJ2(EtherNet/IP機能付き)/NJ/NX/NYとの組み合わせ時

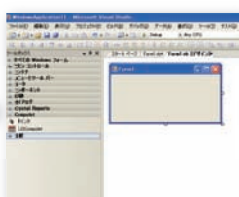
■ 使い方

フォームに貼って、コードを一行記述するだけ

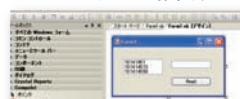
① インストール後、コントロールに
「NJ Compolet」のアイコンが
表示される。



② 「NJ Compolet」の
アイコンをフォームに
配置する



③ コマンドボタン、テキストボックス
などをフォームに配置する



④ プロパティで相手先
PLCを選択



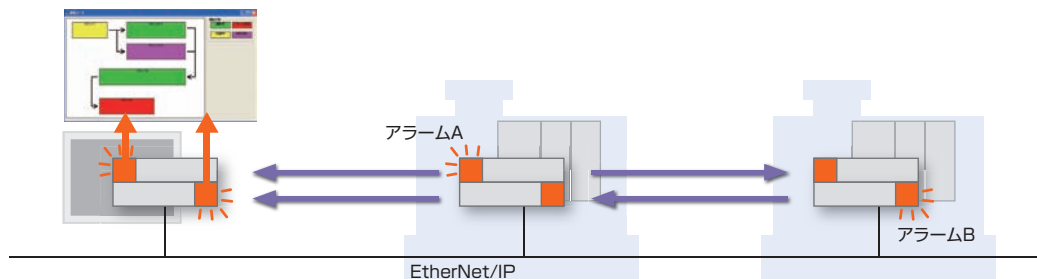
⑤ コマンドボタンのコードウイ
ンドウでPLC側のタグ名を1行
記述する(下記はタグ名が
"現在値")

Text1=NJ Compolet1.ReadVariable" 現在値")

■ 応用例

装置のアラーム監視プログラムを簡単に実現

- CX-Compoletが用意するコントロール部品を使うことで、アプリケーション設計者は、通信部分のアプリケーションを作らずに済みます。
- 装置のアラーム等のデータを、EtherNet/IPによる手上げ(イベント)により、アプリケーションに通知します。
- しかも、アプリケーション側では、タグ名(例えば、アラームA、アラームB)で指定するため、容易に標準化が可能です。



CX-Compoletのおもな機能一覧

インタフェース	機 能	内 容
プロパティ	オムロン製PLCとの通信	通信相手となるオムロン製PLCの指定、ネットワーク情報の読出
	I/Oメモリの読み書き	DMやCIOチャンネルなどのメモリエリアを読み出し、書き込み 例)DMの100チャンネル:DM100、またはタグ名で指定
	運転状態	運転モードの変更や読み出し
	エリア情報	プログラムエリアのサイズやDMチャンネル数などの読み出し
	エラー情報	発生中の異常があれば、値とエラーメッセージで読み出し
	その他のオムロン製PLCの情報	形式の読み出し、時計変更や時計読み出し
	タグ情報の取得	NJ/NX/NYシリーズ/CJ2(EtherNet/IP機能付き)のタグ名一覧を取得
メソッド	I/Oメモリの読み書き	連続したDMやCIOチャンネルなどのメモリエリアを読み出し、書き込み 例)データ型(Integer/Singleなど)の指定やデータ形変更(BCD/BIN/SBIN)も可能
	I/Oテーブルの作成	現在の構成でI/Oテーブルを作成
	接点の強制セット/リセット/解除	接点単位で強制セット/リセット/解除
	オムロン製PLCとの通信	通信相手となるオムロン製PLCの指定
	FINSサービスの実行	FINSコマンドを送信して、受け取ったレスポンスを取得
	PLCのイベントログ取得*	指定したカテゴリのPLCのイベントログを取得 PLC内に格納されている過去に発生した異常の日時や内容(システムイベント・アクセスイベント・ユーザイベント)を、カテゴリ別または一括して取得可能
	タグの読み書き実行時間の取得	タグの値の読み書き実行時間の統計情報(最小値、最大値、平均値)を取得 (Ver.1.74以降)
イベント	定周期イベント	定周期でイベントを発生

* NJ/NXシリーズ CPUユニット、NYシリーズ産業用PCでのみ使用可能です。

通信カブラユニット、NX ユニット、EtherCAT スレーブ、CJ シリーズユニットのイベントログは取得できません。

イベントログについての詳細は、CPUユニットのトラブルシューティングマニュアル等を参照してください。

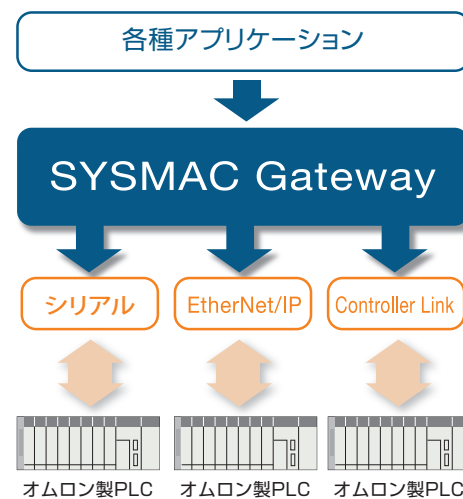
仮想PLCメモリ機能をもった、オムロン製PLCの通信ドライバ

SYSMAC Gateway

通信ドライバ・仮想PLCメモリ

SYSMAC Gatewayは、オムロン製PLCの通信ドライバ機能と仮想メモリ機能をもちます。オムロンが提供するFA通信ソフトウェア群は、通信ミドルウェアSYSMAC Gatewayを共通プラットフォームとしています。

- FINS通信に加え、EtherNet/IP通信にも対応
- 仮想PLCのイベントメモリ機能をもっているため、パソコンをデータリンクの1ノードとして参加可能
- メモリの変化をパソコン側アプリケーションに通知可能
- タスクトレイ通知でSYSMAC Gatewayの状態(EtherNet/IP通信)の確認が可能



注: USB、Ethernetでも通信可能です。

こんなとき → PLC用各種アプリケーション開発・変更が大変なとき

お困りごと	
通信プログラムをすべて自作されているお客様	ネットワーク毎にプログラムの変更が面倒
すでにFinsGatewayをご利用のお客様	-速度に不満 -データリンク容量に不満
	各ノードまたはデータのかたまりごとに、メッセージを送受信する通信プログラムが大変
パソコン側アプリケーションの標準化をお考えのお客様	PLCのメモリマップが変更されるたびに、パソコン側アプリケーションの変更が大変

解決策	
ネットワークの違いを吸収し、通信プログラムの開発工数を削減できます。	
EtherNet/IPにより、専用通信ボードなしで、かつ高速・大容量のデータリンクで解決できます。	
EtherNet/IPのデータリンクで通信効率を最適化できます。	
CJ2 (EtherNet/IP機能付き) /NJ/NX/NYの場合のみ、タグアクセス、タグデータリンク(*1)により、PLCのメモリマップから解放されます。 (*1: C言語のライブラリからはタグデータリンクはできません。NETからは可能。)	

タスクトレイ通知・トラブルシュータ機能

EtherNet/IP通信の各種状態(ネットワーク、タグ、動作履歴)を表示します。
また、Explicitメッセージタスクモニタを利用することで、SYSMAC Gateway内部のCIPメッセージ通信処理の負荷状態を確認でき、処理負荷に起因する通信トラブルの原因解析に利用できます。

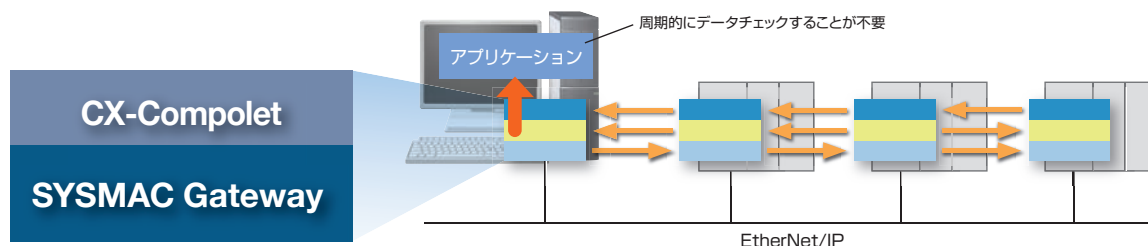
イベントログユーティリティ

マシンオートメーションコントローラ(NJ/NXシリーズ)、産業用PCプラットフォーム NYシリーズ IPCマシンコントローラに記録されているイベントログの情報を取得、表示します。

■ 応用例

データの变化をイベントでお知らせ

- あらかじめ設定した条件に合致したときのみにイベントでアプリケーションに通知できます。
- 定期的にデータ変化をチェックするプログラムを省けるため、パソコンCPU負荷を軽減できます。
- データ変化はすぐに通知されるため、余分な通信時間もなくなります。



SYSMAC Gatewayのおもな機能一覧

項 目	内 容
サポートプロトコル	SYSDWAY, SYSDWAY-CV, ツールバス、FINS, CIP
対象PLC	NX, NJ, NY, CJ2, CJ1, CS1, CP1, CP2, C, CVM1/CV
対象ネットワーク	Ethernet (FINS/データリンク)、EtherNet/IP (CIP/データリンク)、RS-232C (SYSDWAY, SYSDWAY-CV, ツールバス)、USB、Controller Link (FINS/データリンク)
仮想イベントメモリ	CIO, AR, HR, WR, DM, EM1-EM1F
タグアクセス	CJ2 (EtherNet/IP機能付き)/NJ/NX/NYの場合、名称(タグ名)でアクセス可能

CIPサービス仕様

項 目	内 容	
タグデータ リンク *1	コネクション数	1536本
	許容通信帯域幅	40,000pps *2
	更新周期(RPI)	1～10000ms(1ms 単位)。 ^{*3}
	最大リンクデータサイズ	1,108,992CH
	1コネクションの最大データサイズ	722CH(1444 バイト)
Explicit メッセージ	メッセージ送信機能(クライアント)	CIP コネクションレス型(UCMM)、 および CIP コネクション型(Class3)通信
	メッセージ受信機能(サーバー)	CIP コネクションレス型(UCMM)、 および CIP コネクション型(Class3)通信
	データサイズ	502バイト
	CIPルーチング	不可

*1 SYSMAC GatewayとNJ/NXシリーズ CPU ユニットもしくは産業用PCプラットフォーム NYシリーズ IPCマシンコントローラで、タグデータリンクを行う場合は、CJシリーズの基本データ型を持つ変数、配列指定の変数、構造体変数の仕様の範囲のみで行うことができます。ただし、NYシリーズ産業用PCの内部通信ポートを使用したタグデータリンクはできません。また、SYSMAC Gatewayの構造体変数のメモリ配置はCJシリーズと同じです。

*2 参考値です。実際の性能は、お使いのパソコン、Windowsアプリケーションの実行状態によって異なります。

*3 設定可能なRPIはコネクション数によります。

■ SDKで使用できるおもなAPI

CIP通信

基本操作	
CIPApp_openConnectionExplicit	Explicitメッセージコネクションオープン(Class3・UCMM)
CIPApp_closeConnectionExplicit	Explicitメッセージコネクションクローズ
CIPApp_sendRequestExplicit	Explicitメッセージ送信
CIPApp_receiveExplicit	Explicitメッセージ受信

送信 / 受信データを加工する操作	
CIPUtil_constructNetworkPath	Explicitメッセージ送信用 NetworkPath作成
CIPUtil_constructRequestPathWithCIA	Explicitメッセージ送信用 RequestPath作成 (ClassID/InstanceID/AttributeIDから)
CIPUtil_constructRequestPathWithTagName	Explicitメッセージ送信用 RequestPath作成(タグ名から)

内部情報取得操作	
CIPPort_getStatus	ネットワークポートの状態取得
CIPPort_getConnectionStatus	データリンクコネクションの状態取得

注. その他、12個のAPIがあります。

Fins通信

基本操作	
Fins_sendData	FINSの送信処理
Fins_receiveData	FINSの受信処理

内部情報取得操作	
Fins_getNetworkInfo	ネットワーク情報の取得

送信 / 受信データを加工する操作	
FinsHead_compose	FINSコマンドヘッダの生成
FinsHead_composeResponse	FINSレスポンスヘッダの生成

注. その他、13個のAPIがあります。

データリンク / イベントメモリアクセス

メモリの読み込み / 書き込み	
Em_readMemory	メモリの読み込み
Em_writeMemory	メモリの書き込み

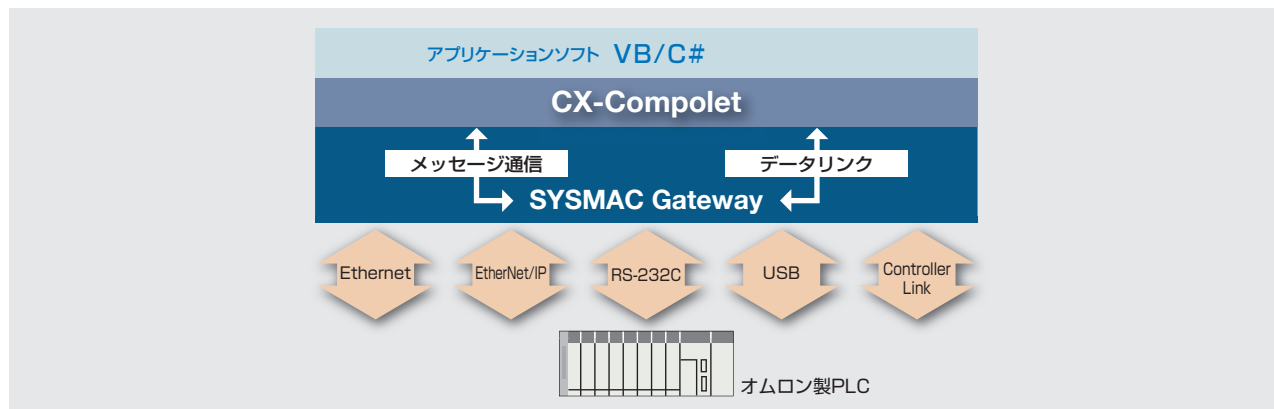
イベントの送信 / 受信	
Em_sendEvent	イベントの送信
Em_receiveEvent	イベントの受信

イベント発生条件の設定 / 解除	
Em_setCondition	通常のイベント発生条件の設定
Em_clearCondition	通常 / 広域のイベント発生条件の解除

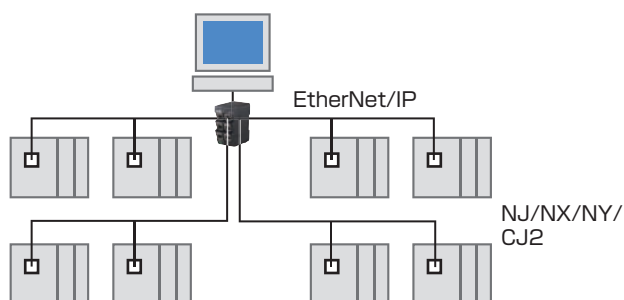
内部情報取得	
Em_getConditionList	通常イベント発生条件の設定一覧の取得

注. その他、30個のAPIがあります。

CX-Compolet / SYSMAC Gatewayは 以下の構成でアクセスできます

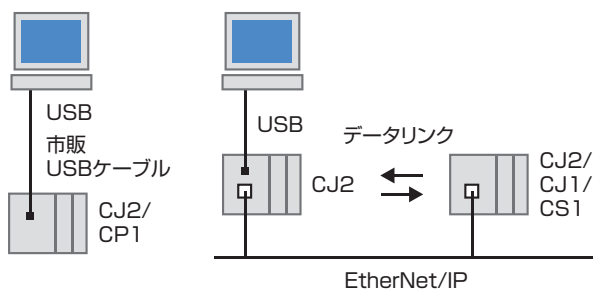


■ EtherNet/IP接続

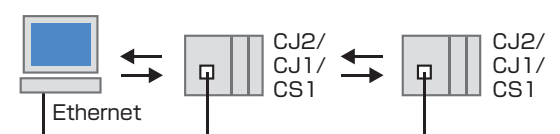


データベースと組み合わせたシステムには、コントローラとデータベースを直結する「データベース接続CPUユニット」をご検討ください。
詳細は、当社販売員にお問い合わせください。

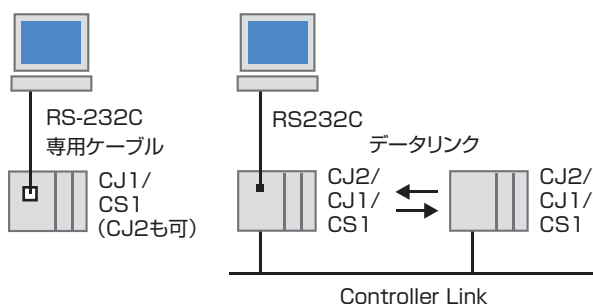
■ USB接続



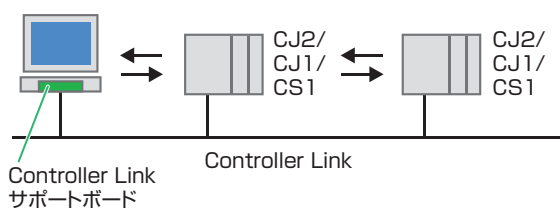
■ Ethernet (FINS) 接続



■ RS-232C接続



■ Controller Link接続

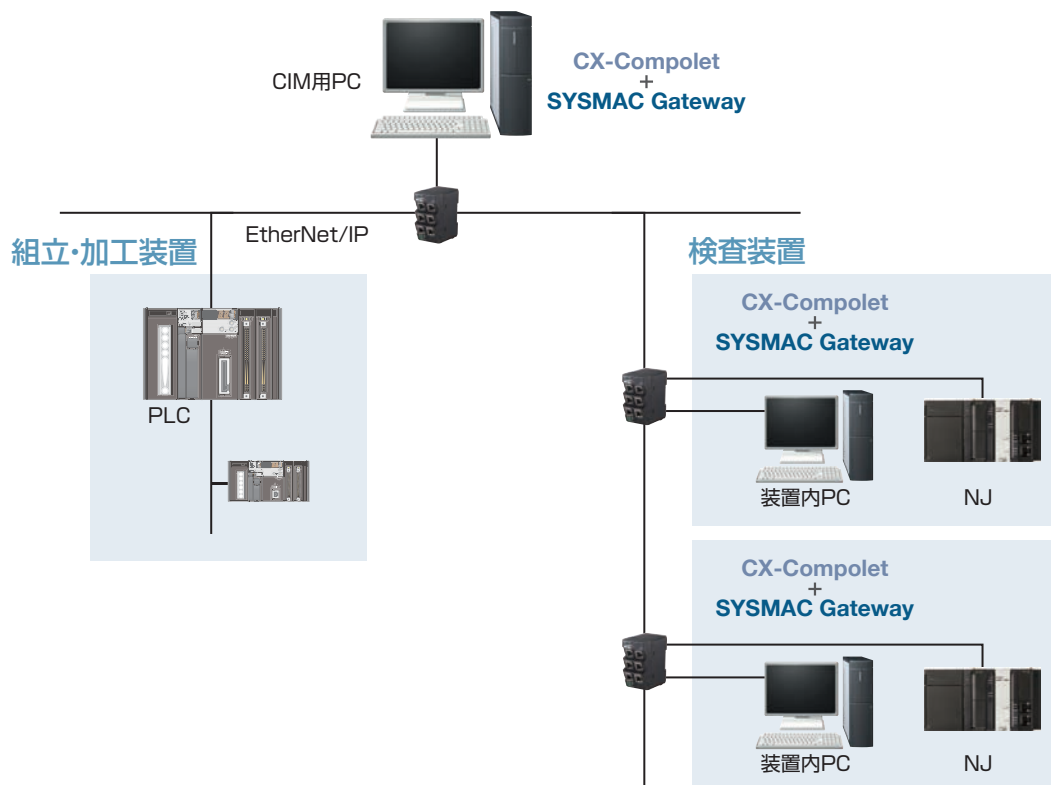


注. 上記の内容は、あくまでもシステム構成例です。上記以外のPLCでも通信は可能ですが、詳しくは「主なPLC機種と接続ネットワーク対応表」をご覧ください。

応用例 1

パソコンで制御する装置（FPD製造工程）

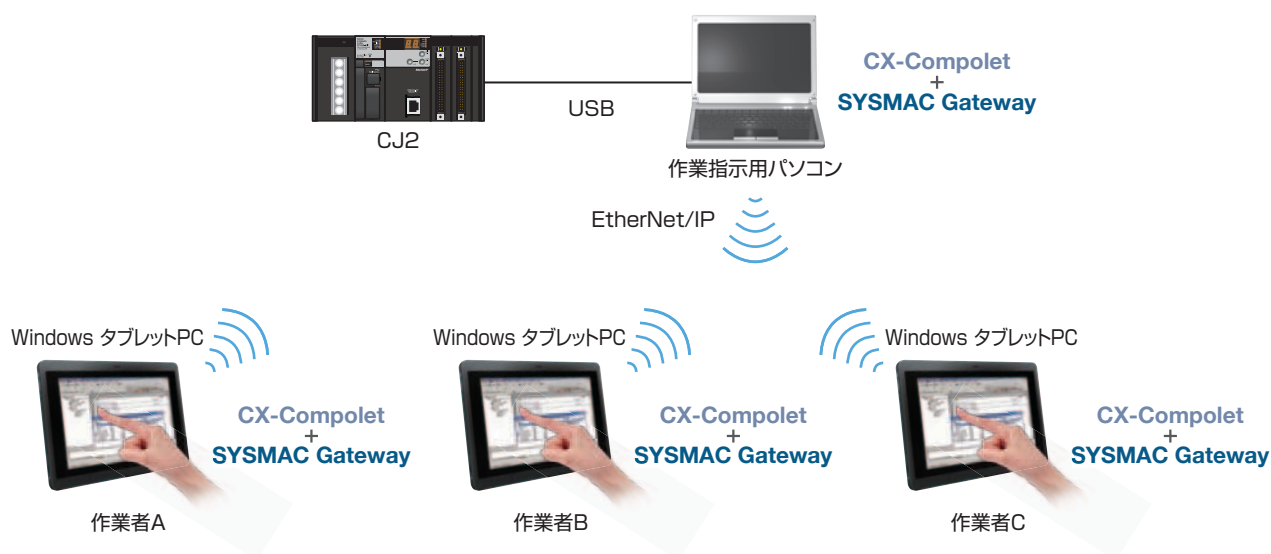
- 制御用ネットワークのために専用ハードウェアが不要



応用例 2

ノートパソコンの無線LANを活用

- 専用ハードウェアを用いずにEthernet/IPのデータリンク通信ができるため、ノートパソコンなどでも簡単に利用可能



注. 上記の内容は応用例です。実際のご使用には商品のセットアップディスクに収めてあるオンラインヘルプをよくお読みの上、必ず現場での事前動作確認をお願いします。

CX-Compolet

商品名称	仕 様				形 式	標準価格(¥)
			ライセンス数	メディア		
CX-Compolet*1	パソコンと各種コントローラ間の通信プログラムを簡単に実現できるソフトウェア部品	CX-CompoletとSYSMAC Gateway機能が含まれた商品	1	DVD	形WS02-CPLC1*2	オープン価格
		追加ライセンス (本商品は形WS02-CPLC1の追加ライセンス証発行のみです。使用するには形WS02-CPLC1のご購入が必要です。)	3	—	形WS02-CPLC1-L3	
	対応実行環境: .NET Framework (2.0, 3.0, 3.5, 4.6.1, 4.7, 4.8) 開発環境: Visual Studio 2012/2013/2015/2017/2019/2022 開発言語: Visual Basic、C# 対象通信: SYSMAC Gatewayと同等	CX-Compolet単体 (SYSMAC Gateway機能を含みません。)	5	—	形WS02-CPLC1-L5	
			10	—	形WS02-CPLC1-L10	
			1	CD-ROM	形WS02-CPLC2	

*1 パソコン(実行環境)1台ごとにライセンスが必要です。
*2 形WS02-CPLC1には、RHEL版があります。
詳細につきましては、当社販売員にお問い合わせください。

SYSMAC Gateway (通信ミドルウェア)

商品名称	仕 様				形 式	標準価格(¥)
			ライセンス数	メディア		
SYSMAC Gateway*1	FinsGatewayの機能に加えCIP通信・タグデータリンク(EtherNet/IP)にも対応したWindows/パソコン用通信ミドルウェア (Fins Gateway機能が含まれています。) 対象通信: Ethernet、EtherNet/IP、RS-232C、USB、Controller Link		1	CD-ROM	形WS02-SGWC1	オープン価格
	追加ライセンス (本商品は形WS02-SGWC1の追加ライセンス証発行のみです。使用するには形WS02-SGWC1のご購入が必要です。)		10	—	形WS02-SGWC1-L10	
SYSMAC Gateway SDK	SYSMAC Gatewayを利用した通信プログラムを作成するソフトウェア開発キット 開発言語: C、C++ ご購入に際しては、当社販売員にお問い合わせください。		1*2	CD-ROM	形WS02-SGWC1S	

*1 パソコン(実行環境)1台ごとにライセンスが必要です。
*2 パソコン(開発環境)1台ごとにライセンスが必要です。SYSMAC Gateway SDKには、SYSMAC Gatewayのライセンスが含まれていません。
実行環境が必要な場合には、別途 形WS02-SGWC1をご購入ください。

動作環境 (CX-Compolet / SYSMAC Gateway共通)

項 目	システム要件
オペレーティングシステム(OS) 日本語版または英語版*2	Microsoft Windows Server 2008 R2(64bit*1) Microsoft Windows Server 2012(64bit*1) Microsoft Windows Server 2012 R2(64bit*1) Microsoft Windows Server 2016(64bit*1) Microsoft Windows Server 2019(64bit*1) Microsoft Windows Server 2022(64bit*1) Microsoft Windows Server 2025(64bit*1) Microsoft Windows 7 SP1 (32bit/64bit*1) Microsoft Windows 8.1 (32bit/64bit*1) Microsoft Windows 10(32bit/64bit*1) Microsoft Windows 11 (64bit*1)
パソコン	Intel 32bit(x86) または、64bit(x64) ベースのプロセッサを搭載するWindows/パソコン
ハードディスク容量	400MB以上の空き容量

*1 WOW64(Windows-On-Windows 64)で動作します。アプリケーションを64ビットプロセスで動作させる場合は、商品に同梱しているサンプルプログラムを参考にしてください。
*2 CX-Compolet 形WS02-CPLC1には、RHEL版があります。
詳細につきましては、当社販売員にお問い合わせください。
注1. Windows Vista以降では、USBポートをSYSMAC GatewayとCX-Oneで同時に使用することはできません。
注2. Windows/パソコンのシステム要件は、Microsoftが推奨するシステム要件に準じます。
注3. SYSMAC Compolet V2互換機能がサポートするOSはWindows XPのみです。

SYSMAC Gateway SDKとCX-Compoletの比較

○:サポートあり、×:サポートなし、△:制限付きサポートあり

通信方式	通信プロトコル	メモリ指定方法	SYSMAC Gateway SDK (形WS02-SGWC1S)	CX-Compolet+SYSMAC Gateway (形WS02-CPLC1)
メッセージ通信	FINS	物理アドレス	○	○
	CIP	物理アドレス	△*1	○
		変数(タグ)	×	○
タグデータリンク (EtherNet/IP)	CIP	物理アドレス	△*2	○
		変数(タグ)	×	○
開発言語			C, C++	Visual Basic、C#

*1 CIP通信仕様をご理解の上、ご使用ください。
*2 イベントメモリを介したデータ送受信となります。

主なPLC機種と接続ネットワーク対応表

○:サポートあり、×:サポートなし

パソコン側		RS-232C				USB	Ethernet (LAN)		Controller Link
PLC機種		SYSWAY (上位リンクCモード)	SYSWAY-CV (上位リンクFINS)	CompoWay/F (パソコン側親局)	ツールバス	FINS	Ethernet (FINS)	EtherNet/IP	FINS
NX7/NJ1 (ユニット Ver.1.10以降)*1 NJ5/NJ3 (ユニット Ver.1.01以降)*2 NX5 (ユニット Ver.1.60以降)*3 NX1 (ユニット Ver.1.30以降)*4 NX1P (ユニット Ver.1.13以降)*5 NY5□□-1 (ユニット Ver.1.12以降)*5 NX701-Z/NY5□□-Z (ユニット Ver.1.18以降)*6		×	×	×	×	×	×	○*7	×
CJ2 (EtherNet/IP機能付き)		○	○	×	○ (ツールバス-CS/CJ)	○	○	○ (タグ名での指定可能)	○*8
CJ1		○	○	×	○ (ツールバス-CS/CJ)	×	○*8 (CJ1M EtherNet機能 付きは通信ユニット不要)	○*8,*9	○*8
CS1		○	○	×	○ (ツールバス-CS/CJ)	×	○*8	○*8,*9	○*8
CP1		○*10	○*10	×	○*10 (ツールバス-CS/CJ)	○	○*11	×	○*8 (CP1Hのみ)
CP2		○	○	×	×	○*12	○*13	×	×
C シリーズ	C200HX/HG/HE、CQM1H	○	×	×	○ (ツールバス-C)	×	×	×	○*8
	CPM1/CPM2	○	×	×	○ (ツールバス-C)	×	×	×	×
CVM1/CV		○	○	×	○ (ツールバス-CV)	×	○*8	×	○*8
温度調節器などCompoWay/F子局		×	×	○	×	×	×	×	×

注. 生産終了品/生産終了予定商品を含みます。

*1 NX701-1□□□/NJ101-□□□□対応は、CX-Compolet/SYSMAC Gateway Ver.1.70以降が必要です。

*2 NJ5/NJ3対応は、CX-Compolet/SYSMAC Gateway Ver.1.31以降が必要です。

*3 NX502-1□□□対応は、CX-Compolet/SYSMAC Gateway Ver.1.81以降が必要です。

*4 NX1対応は、CX-Compolet/SYSMAC Gateway Ver.1.72以降が必要です。

*5 NX1P/NY5□□-1対応は、CX-Compolet/SYSMAC Gateway Ver.1.71以降が必要です。

*6 NX701-Z□□00/NY5□□-Z□□00対応は、CX-Compolet/SYSMAC Gateway Ver.1.73以降が必要です。

*7 SYSMAC GatewayとNJ/NXシリーズ CPUユニットもしくは産業用PCプラットフォーム NYシリーズ IPCマシンコントローラで、タグデータリンクを行う場合は、CJシリーズの基本データ型を持つ変数、配列指定の変数、構造体変数の仕様の範囲のみで行うことができます。ただし、NYシリーズ産業用PCの内部通信ポートを使用したタグデータリンクはできません。
また、SYSMAC Gatewayの構造体変数のメモリ配置はCJシリーズと同じです。

*8 別途通信ユニットが必要です。

*9 タグ名での指定不可です。

*10 CP1E-Eタイプでは使用できません。

*11 通信オプション CP1W-CIF41が必要です (CP1L-EM/ELタイプのぞく)。CP1E Nタイプには、CP1W-CIF41 Ver.2.0以降が必要です。CP1E Eタイプにはご使用できません。

*12 CP2E-Nタイプでは使用できません。

*13 CP2E-E/Sタイプでは使用できません。

対応OS・開発環境とCX-Compolet/SYSMAC Gatewayの対応バージョン

			CX-Compolet/SYSMAC Gateway 対応Ver.
対応OS	クライアント	Windows 7 SP1 (32bit版)	Ver.1.10以降
		Windows 7 SP1 (64bit版)	Ver.1.20以降
		Windows 8.1 (32bit/64bit版)	Ver.1.40以降
		Windows 10 (32bit/64bit版)	Ver.1.70以降
		Windows 11 (64bit版)	Ver.1.81以降
	サーバ	Windows Server 2008 R2 (64bit版)	Ver.1.20以降
		Windows Server 2012/R2 (64bit版)	Ver.1.50以降
		Windows Server 2016 (64bit版)	Ver.1.72以降
		Windows Server 2019 (64bit版)	Ver.1.80以降
		Windows Server 2022 (64bit版)	Ver.1.81以降
開発環境		Visual Studio 2012	Ver.1.82以降
		Visual Studio 2013	Ver.1.50以降
		Visual Studio 2015	Ver.1.40以降
		Visual Studio 2017	Ver.1.70以降
		Visual Studio 2019	Ver.1.72以降
		Visual Studio 2021	Ver.1.80以降
		Visual Studio 2022	Ver.1.81以降

注1. SYSMAC GatewayはVer.1.80よりユニットレビジョンがRev4に変更されました。
EtherNet/IPネットワークのタグデータリンク設定がRev1～Rev3で行われている場合、Network Configurator for EtherNet/IPを用いて、デバイスをSYSMAC Gateway Rev4に変更する必要があります。

注2. EtherNet/IPネットワークでSYSMAC GatewayユニットレビジョンRev4 (Ver.1.80以降)をノードとするタグデータリンク設定を行う場合、Network Configurator for EtherNet/IP Ver.3.72 以上が必要です。(Network Configurator for EtherNet/IPは、
・CX-Compolet 形WS02-CPLC1 Ver.1.80以降
・SYSMAC Gateway 形WS02-SGWC1 Ver.1.80以降
に同梱(こん)されています)

注3. CX-Compoletの最新版へのバージョンアップが必要な場合は、当社販売員にお問い合わせください。

対応OSと通信対応表

○:サポートあり、×:サポートなし

			Ethernet		RS-232C	USB	Controller Link
			Ethernet (FINS)	EtherNet/IP			PCI
対応OS	クライアント	Windows 7 SP1 (32bit版)	○	○	○	○	○
		Windows 7 SP1 (64bit版)					×
		Windows 8.1 (32bit/64bit版)	○	○	○	○	×
		Windows 10 (32bit/64bit版)	○	○	○	○	×
		Windows 11 (64bit版)	○	○	○	○	×
	サーバ	Windows Server 2008 R2 (64bit版)	○	○	○	○	×
		Windows Server 2012/R2 (64bit版)	○	○	○	○	×
		Windows Server 2016 (64bit版)	○	○	○	○	×
		Windows Server 2019 (64bit版)	○	○	○	○	×
		Windows Server 2022 (64bit版)	○	○	○	○	×
		Windows Server 2025 (64bit版)	○	○	○	○	×

テクニカルガイドのご紹介

資料名称	Man.No.	内 容
CX-Compolet アプリケーション設計ガイド CIP通信編	SBSB-537	CX-Compolet、SYSMAC Gatewayを用いたアプリケーションの設計手順、動作確認手順、および通信異常発生時のトラブルシューティング方法を記載

サードパーティ商品のご紹介

CX-Compolet/SYSMAC Gatewayに対応したソフトウェア商品をご紹介します。オムロンのNJシリーズと高い接続親和性が実現されています。

ウェリンテック・ジャパン株式会社

KingView(産業用監視制御ソフトウェア)

パソコンによる製造現場でのリアルタイム監視、制御、データ分析を実現します。

主な特徴

- グローバル言語(日・英・中)対応、世界初のNJシリーズ向けドライバを開発。*
- NJシリーズのタグを自動的に読み取って、KingViewに登録。
- オムロン製PLCシリーズにアクセス可能。

*SCADAにおいて世界初(2011年11月時点)



問い合わせ先:

ウェリンテック・ジャパン株式会社
info@wellintech.co.jp
http://www.wellintech.co.jp/

株式会社たけびし

デバイスエクスプローラ OPCサーバー(産業用通信ソフトウェア)

SCADAやCAD等の汎用パッケージソフトウェアからオムロン製PLCシリーズにアクセスできます。

主な特徴

- NJシリーズにいち早く対応。*オムロン製PLCシリーズにアクセス可能です。
- アジアで初めてOPC UAインターフェイスを搭載しています。
- 24時間連続運転に最適!システム稼働したまま通信パラメータの変更が可能です。

*OPCサーバにおいて世界初(2012年7月時点)



問い合わせ先:

株式会社たけびし
fa-support@takebishi.co.jp
https://www.faweb.net/

InduSoft, Inc.

InduSoft Web Studio

どこにでも展開できる

強力なHMI・SCADA・OEE/Dashboard用開発ツール

主な特徴

- AndroidやiPhone、iPadでアクセスして情報を処理できるEnhanced Studio Mobile Accessを含む3種類のシンクライアントによるモバイル・アクセスが可能です。
- 240以上のネイティブ通信ドライバを搭載し、OPCやSYSMAC Gateway (旧FINS Gateway)にも対応しています。
- アラーム・トレンドモニター・レポートイベント等、SCADA・HMI・OEE/Dashboardアプリケーションの開発に必要な全てのツールをご用意しています。

注. 記載内容については、当社が保証するものではありません。詳細は各社までお問い合わせください。

オムロン株式会社 インダストリアルオートメーションビジネスカンパニー

製品に関するお問い合わせ先

お客様
相談室

フリー
通話
0120-919-066
携帯電話の場合、
055-982-5015 (有料) をご利用ください。
受付時間: 9:00~17:00 (土・日・12/31~1/3を除く)

オムロンFAクイックチャット
www.fa.omron.co.jp/contact/tech/chat/
技術相談員にチャットでお問い合わせいただけます。(I-Webメンバーズ限定)
受付時間: 平日 9:00~12:00 / 13:00~17:00 (土日祝日・年末年始・当社休業日を除く)
※受付時間、営業日は変更の可能性があります。最新情報はリンク先をご確認ください。

その他のお問い合わせ: 納期・価格・サンプル・仕様書は貴社のお取引先、または貴社担当オムロン販売員にご相談ください。オムロン制御機器販売店やオムロン販売拠点は、Webページでご案内しています。



オムロン制御機器の最新情報をご覧ください。緊急時のご購入にもご利用ください。

www.fa.omron.co.jp

本誌には主に機種のご選定に必要な内容を掲載しており、ご使用上の注意事項等を掲載していない製品も含まれています。
本誌に注意事項等の掲載のない製品につきましては、ユーザーズマニュアル掲載のご使用上の注意事項等、ご使用の際に必要な内容を必ずお読みください。

- 本誌に記載の標準価格はあくまで参考であり、確定されたユーザ購入価格を表示したものではありません。本誌に記載の標準価格には消費税が含まれておりません。
- 本誌にオープン価格の記載がある商品については、標準価格を決めていません。
- 本誌に記載されているアプリケーション事例は参考用ですので、ご採用に際しては機器・装置の機能や安全性をご確認の上、ご使用ください。
- 本誌に記載のない条件や環境での使用、および原子力制御・鉄道・航空・車両・燃焼装置・医療機器・娯楽機械・安全機器、その他人命や財産に大きな影響が予測されるなど、特に安全性が要求される用途に使用される際には、当社の意図した特別な商品用途の場合や特別の合意がある場合を除き、当社は当社商品に対して一切保証をいたしません。
- 本製品の内外、外国為替及び外国貿易法に定める輸出許可、承認対象貨物(又は技術)に該当するものを輸出(又は非居住者に提供)する場合は同法に基づく輸出許可、承認(又は役務取引許可)が必要です。
- 規格認証/適合対象機種などの最新情報につきましては、当社Webサイト(www.fa.omron.co.jp)の「規格認証/適合」をご覧ください。

オムロン商品のご用命は